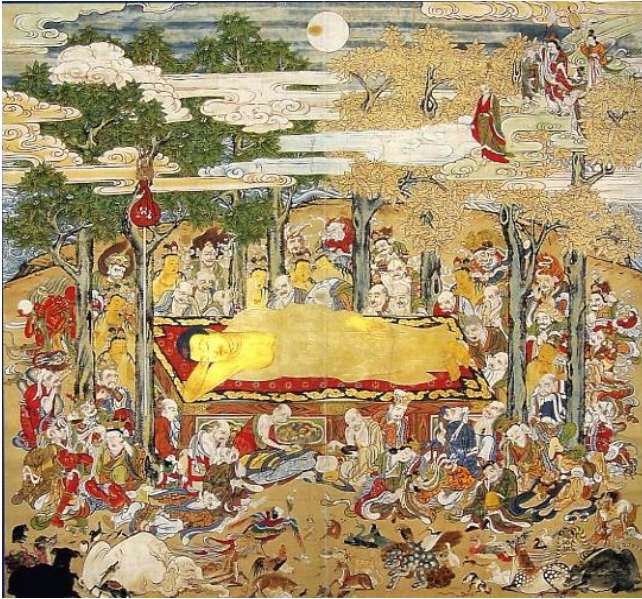


お釈迦様の最後の言葉

ふほういつ しゅぎょう かんせい
「不放逸にして、修行を完成させなさい」



「放逸」とは、なまける・怠惰・心が散漫となり善行に専心できないこと。

だから、放逸を「不放逸」にしなければ、と涅槃（入滅）に入る最後の教訓を遺してくださった。

己の心を自由に放つと「放逸」となり、五欲に陥こととなり、我がままや好き嫌いの心で、不要なる対立や争いを生む。そして翻って、自身を悩まし不幸となる。

そんな人々を、釈尊は哀れんでおいでである。

「修行を完成させなさい」と、何かとてつもない大変なことを言っておられるようだが、要は、【幸せになりなさい】ということ。難しいことはない、私の遺した『真実の言葉』＝『お経』の通りに行うだけである。

まずは耳を傾けてほしい。素直な心で。

掲げた涅槃図の前には「お耳団子」を供える所以である。

3月8日（日）午後2時 月施餓鬼と合わせ、供えます。